

円山周辺にある人・物・場所・文化を紹介する「まるやまさんぽ」、第5回目は、当院にお花を届けて下さっている「Flower Arne(フラワーアルネ)」をご紹介します。

毎週全病棟にお花を届けて頂いており、病院全体が明るくなるので、患者様にも大変喜ばれ好評頂いています。

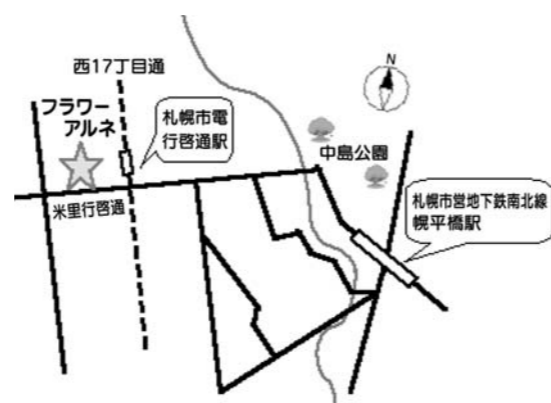
多くの行事に飾られているお花もつくって頂いており、さまざまな要望に合わせて素敵なアレンジメントをして頂いています。

個人のお客様はもちろん、店舗ディスプレイ・アレンジメントなどお客様に合わせたお花を提供しているそうです。札幌市外への配達も行っており、お気軽にTEL下さいとのことでした。

ぜひ皆様も、大切な方へのプレゼント等素敵な花束をつくってみてはいかがでしょうか。



※系列である「佐藤珈琲」(札幌市中央区南18条西11丁目・宮の森1条6丁目)では、お店の中のディスプレイを「Flower Arne」で行っています。お花の注文も承っていますので、店頭にてお尋ね下さい。



## Flower Arne(フラワーアルネ)

住所/〒064-0914 札幌市中央区南14条西7丁目2-12  
 アクセス/市電 行啓通駅 徒歩1分・地下鉄南北線 幌平橋駅 徒歩10分  
 営業時間/10:00~19:00 定休日/なし  
 TEL 011-522-2815 FAX 011-530-0087

## ロビーコンサート ふきのとう コンサート



ピアノ・オペラ演奏  
北星学園大学、  
北海道教育大学岩見沢校

3月22日(日)にふきのとうコンサートと題して、北星学園大学、北海道教育大学岩見沢校の学生様4名によるピアノ・オペラ演奏のロビーコンサートを開催しました。オペラ演奏では若さあふれる圧巻の音量、歌声、表現力に患者様も圧倒され、日本の歌では皆様と患者様とが1つになり合唱することができました。

聞いて楽しむ、歌って楽しむことのできたコンサートとなりました!



## 編集後記 2015

だんだんと気温が暖かくなってきて外出するのが楽しい季節になってきました。しかし花粉症の方には憂鬱な季節なのではないでしょうか。

私もそのうちの一人なのですが、4~5月はマスクとティッシュが欠かせません。最近では食生活の西洋化が進んで、青魚を食べる機会が減った為に花粉症を発症する人が増えてきているそうです。青魚に含まれるEPAとDHAが免疫の働きを正常化させ、アレルギー症状を抑える働きをしてくれます。皆さんも青魚を食べて花粉症に備えましょう!!

すべての  
お問い合わせは

郵便 〒064-8557  
札幌市中央区円山西町4丁目7-25  
札幌西円山病院 地域連携推進室内  
広報誌「にしまるやま通信」編集事務局

お気軽にお問い合わせ下さい!

電話 (011) 644-1380  
FAX (011) 642-4347

[医療法人溪仁会 札幌西円山病院 広報誌]

# にしまるやま通信

発行日 2015.4.30

No.92



季節の写真リレー 撮影者/K.H

- 地域包括ケアシステムの概要Vol.1 ● ひな祭り
- ボランティア募集(銀の舟) ● まるやま SUN-PO!⑤
- ロビーコンサート ● 編集後記

## \* \* 札幌西円山病院のご案内 \* \*

- 診療科目 内科、神経内科、リハビリテーション科、循環器内科、歯科
- 病床数 821床(障害者施設等一般病棟、医療療養病棟、回復期リハビリテーション病棟、介護療養型医療施設)

# 地域包括ケアシステムの概要 Vol.1

札幌西円山病院 MSW 大植 友樹

最近、地域包括ケアシステムという言葉が飛び交うようになり、医療や介護業界の方々には浸透し始めておりますが、地域住民の方々にはまだ実感が湧いていないのが現状と思います。ここでは、地域住民の方にもご理解して頂けるように5回シリーズで「地域包括ケアシステム」について根本的な事を中心にお話しさせて頂きたいと思っております。

地域包括ケアシステムは、「介護が必要な状態になっても、可能な限り、住み慣れた地域や住みたい地域で在宅生活を続ける体制を地域毎で作っていくこと」です。国が示した地域包括ケアシステムのイメージは図1ですが、すべての地域でこの形がきれいに当てはまる訳ではありません。地域によって規模が違いますし、高齢化や少子化のスピードも大きく異なるため、ご当地で仕組みを作っていく必要があり、仕組みは作って終わりではなく、時代の変化に合わせて順応していく必要がありますので、常に進化していかなければなりません。地域包括ケアシステムとは国策ですが、手段や方法は地方分権ということです。それでは、何故、今までの医療や介護の制度や暮らし方では難しくなるのでしょうか。様々な要因が重なり合っておりますが、一番の要因は人口動態の変化への対応でしょう。

医療保険は昭和38年に国民皆保険制度として導入されました。保険証があれば、「いつでも・どこでも・だれでも」医療が平等に受けられるのが日本の特徴です。介護サービスは、平成元年のゴールドプランを皮切りにヘルパー等の整備が進みましたが、低所得者や身寄りのない方が利用しやすい仕組みであったため、世界に誇る長寿国となった日本の高齢化に対応するため、誰でも活用しやすいよう平成12年に介護保険制度が導入されました。医療保険も介護保険も共通している事は、社会保険の仕組みである事です。社会保険とは、皆でお金を出し合う事で準備金を集め、リスクが発生した人にサービスやお金を渡して助け合う仕組みです。お金を出す人数とリスクが発生する人数のバランスが崩れれば、社会保険の仕組みは成り立ちませんが、今後はリスクが発生する割合が確実に増え続けていきます。

次回に詳しく人口動態の変化について述べますが、これまでのような医療・福祉・介護の体制では、総人口が減少しながら増えていく高齢者の方々を支えきれないため、できるだけ病院や施設ではなく、在宅で生活できるよう整備を進めていく事が、地域包括ケアシステムの基本的な考えとなります。

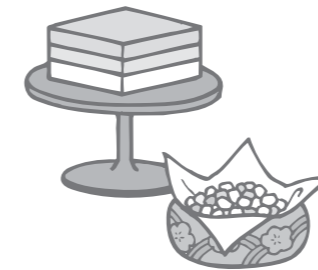
医療・福祉・介護は国民の共通財産である事を前提に、見直さなければならぬ時期にきております。地域独自の体制を作るためには、地域の専門職や行政が中心となり、一般住民の方々と同じ情報量で、町作りの検討をしていく事から始まるのではないのでしょうか。そして、子育て支援や障害児支援等、高齢者支援だけではない視点で地域作りを始められる事が大切でしょう。



# ひな祭り

今年も2月20日(金)～3月4日(水)の期間でひな人形の展示を行いました。

桜の生木も飾ることができ、ひと足早く春らしい雰囲気を感じていただけたかと思っております。



リハビリの合間や、ご家族様とのお散歩などで足を運んでいただき、ありがとうございました。



## ボランティア募集!

## 「銀の舟」

ボランティアグループ「銀の舟」では、新しい仲間を募集しております。ボランティア活動にご興味のある方は事務局までご連絡をお待ちしております。

### 【活動内容】

- 趣味活動・送迎援助  
シルバー教室(舞踊、詩吟、書道、陶芸、生け花、朗読など)にて病棟から活動場所への送迎援助
- 病棟レクリエーション  
お話し相手・囲碁将棋・ヘアカットなどの個別的な関わりの他、病棟デイルームで歌レク・ハーモニカ演奏などの余暇活動
- 季節行事援助  
夏祭り(8月)・銀の舟バザー(9月)・お正月行事(1月)等の事前準備や、当日販売などの援助
- 喫茶室援助  
喫茶室にて患者様へ飲み物の提供と、お話し相手
- 通所リハビリテーション利用者援助  
昼食の配膳、お話し相手、飲み物提供、趣味活動、行事の参加



◎ 活動時、交通費(400円/回)と昼食券の支給があります。  
◎ 月1回の活動も大歓迎!! 体験もできますので、ぜひお気軽に事務局までご相談ください。  
TEL 011-644-1380 [担当:上西(ジョウニシ)]